

○コンクリート表面保護工法比較表(主成分別)

< 簡易Ver >

項目		ハイブリッド型高分子系浸透性防水材 (アイゾールEX)	シラン・シロキサン系浸透性防水材	ケイ酸塩系浸透性防水材
表面保護工法の効果	表面はっ水	10年以上経過後もはっ水性能を確認	紫外線に弱い(数か月～数年)	はっ水性能なし
		○	○	×
	浸透による充填	細孔空隙部を緻密化する	表層部緻密化性能なし	細孔空隙部を緻密化する
		○	×	○
	塗膜防水	透湿性塗膜層を形成 ○外部からの水分浸入を防止 ○内部からの湿気を逃がす	塗膜性能なし	塗膜性能なし
		○	×	×
耐候性・防汚	フッ化ポリニデンが高い耐候性・防汚性を付与	大気中の汚れが付着しやすい	無塗布と比べ若干の効果あり	
	○	×	△	
期待される性能	透水性	表面塗膜と浸透による緻密化により透水量"0"が可能	透水度は低下するが、滞水した場合は、水分は浸透する。(加圧試験は対応不可)	浸透による緻密化により、若干、透水度の低下は認められる。(加圧試験は対応不可)
		○	×	△
性能	耐候性能	塗布後10年以上経過時塗膜性能を確認	はっ水性能は消失する。	経年劣化(炭酸化)にて、緻密層が風化していく。
		○	×	△
性能	中性化抑制効果	表面塗膜と浸透による緻密化により1/7～1/10程度まで抑制。	コンクリート表層の水分量は顕著に低下(ポーラスとなる)するため、二酸化炭素(CO2)が拡散しやすく、中性化促進の可能性あり。	中性化を促進させる二酸化炭素(CO2)を遮断できる性能は無い。塗布時の水分供給により、アルカリ骨材反応や中性化促進の可能性あり。
		○	×	△
性能	施工性	○下地面を乾燥しなくても塗布可能。 ○塗膜乾燥後(2時間程度)に防水性能発揮	下地面の乾燥が必要(水分率8%以下) 塗布後2～7日程度の養生が必要。	下地面を湿潤にする必要がある。
		○	△	△
ポリマーセメントモルタルへの塗布について		透湿性塗膜層は保水性の高いポリマーセメントモルタル内部からの湿気蒸発を阻害しない。	緻密性の高いポリマーセメントモルタルへの深い浸透は困難。	緻密性の高いポリマーセメントモルタルへの浸透による緻密化は困難(コンクリートと比べ、細孔空隙が少ない)
判定		○	×	△

